

本書の構成

* 本書は、概論、1~5章までの各論と付録、コラムで構成されています。それぞれの掲載内容について以下にまとめました。最初から順に目を通してよいですし、目的別に検索して活用していただくこともできます。

● 概 論 ●

救急医療の概略と心構え



● 第 1 章 ●

ケーススタディで実践する救急医療

日常診療でよくみかける症例のケーススタディを提示。Q&A形式になっており、解答の後に解説がある。症候ごとにまとめてあるが、ランダムにチャレンジしてみてもよい。さらに詳しい解説は2章にジャンプ！

● 第 2 章 ●

主要症候別救急医療の実際

主要な症候別に11ジャンルに分け、鑑別診断の進め方、注意事項とピットフォール、関連知識・キーワード、体験談などを取り上げ解説してある。具体的な症例を知りたい時は1章にジャンプ！

検査・治療に関して知りたい時は…

● 第 3 章 ●

救急医療における検査・治療手技

救急医療において最低限習得しておくべき検査や治療手技について、具体的に解説。用意する器具の写真や手技のイラストを多用し、目で見てわかるように工夫。代表的な失敗とその対処法は必読！

● 第 4 章 ●

一目でわかる全身管理の基本

呼吸、循環、体液・電解質、体温・抗菌薬の使い方と5つのジャンルに分類し、全身管理の主要なポイントをまとめた。重症患者の救急医療において求められる基本的役割であるので、基本と注意事項をおさえよう！

● 第 5 章 ●

救急医療における画像の読み方

各種画像診断の読み方を症例をあげて解説。見る順序、見落としてはいけないポイント、見誤りやすい他の所見など、知っておくと必ず役に立つ！

付 錄

① 救急医療で用いる各種パラメータの正しい理解と使い方

普段何気なく使っている各種パラメータの使い方を改めて再確認してみよう！

② 救急医療における書類作成と届出義務

書類作成と届出義務について解説。迷いやすい部分がスムーズに記入できるようになる！